

**新年のご挨拶**

与論町教育委員会 教育長 中山 義和

『一步』を踏み出すチャンス的一年

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、保護者や地域の方々には、本町の教育行政にご理解とご協力をいただき大変感謝しております。2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

ユダヤの格言に出てくる言葉に『零から一までの距離は、一から千までの距離より大きい』があります。無から有を生み出すエネルギーは大変なもので、第一歩を踏み出すことができたなら事は半ば成ったと思って良いという意味だそうです。

教育の面においても、従来の固定観念に捉われない発想で、思い切って「一步」を踏み出して、新しい教育環境づくりに取り組んで参ります。

**新教育委員に 川畑 こず枝 さんが就任いたしました****「就任のごあいさつ」**

教育委員 川畑 こず枝

新しい年を迎え、この度教育委員として活動させていただくことになりました。与論の島の子供たちに関わる活動ができることを嬉しく思います。

私は仕事が写真業で、日頃より子供たちの学校行事等の撮影をしています。また、平成31年4月より「子ども会育成連絡協議会」の会長をさせていただき、とても多くのことを学ばせていただきました。おかげさまで、たくさんの子供たちと関わることができていると思います。

先日の二十歳のつどいでは、幼少期より写真を撮っていた子供たちが立派に成長した姿に感激しました。島を離れた先生方が二十歳のつどいや年祝いのために喜んで来島してくださり、交流を持っている姿を見て、先生方との関わり合いの深さがとても与論らしくすばらしいと思いました。小さい島(町)だからこそ出来るものがたくさんあると思います。保護者や地域は子供たちに目が届き、保護者や地域と教育現場が、これからも密着してほしいと思っております。子供たちからは「与論の島は楽しい」、保護者からは「与論の子育ては楽しい」このような声が聞こえてくるよう、子供たちの健やかな育成のために、誠意をもって頑張ります。私自身が「子育て中のおばちゃん目線」ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

**教育委員会活動報告****定例会 11月1日(水)開催**

- ・ 当面する諸問題(行事予定等)について
- ・ 『誠風第312号』の発行について
- ・ ハラスメントの防止等に関する指針について
- ・ 生徒指導月例報告について(9月)
- ・ 第31回県下中学生秋季野球大会出場旅費等補助金の交付について

定例会 12月13日(水)開催

- ・ 当面する諸問題(行事予定等)について
- ・ 町立図書館の運営について
- ・ 12月議会一般質問について
- ・ 生徒指導月例報告について(10・11月)
- ・ フリースクール視察の報告について

**主な行事予定**

- 1月9日(火) 3学期始業式(小・中・高)
- 1月13日(土) 土曜授業日
- 1月16日(火) 鹿児島県学習定着度調査(1月17日まで)
- 1月17日(水) 定例教育委員会
- 1月30日(火) 第4回ヨロン海洋教育フェア
- 2月7日(水) 定例教育委員会
- 2月17日(土) 町生涯学習フェア・町文化祭 公民館教室発表会
- 2月18日(日) ユンヌフトゥバの日
- 2月21日(水) 与論高等学校卒業式
- 3月6日(水) 定例教育委員会
- 3月12日(火) 与論中学校卒業式
- 3月22日(金) 3小学校卒業式
- 3月25日(月) 修了式・離任式(小・中・高)

★新春★ 令和6年 二十歳のつどい式典

令和6年1月2日に「二十歳のつどい式典」が行われました。今年の二十歳（与論校区21名、茶花校区19名、那間校区17名 計57名）が、町長、教育長、来賓の方々、保護者の皆様に囲まれ素晴らしい門出を迎えられました。代表して山下結衣さん（那間校区）が抱負を、栗本國志さん（茶花校区）が二十歳のつどい代表者あいさつを述べられました。与論島で培った知識や誠の心を活かされ、ご活躍されることを願います。新成人の皆さん、保護者の皆さん、おめでとございます。



◆ 令和5年度 与論町管理職等研修会 ◆

令和5年12月23日（土）与論町役場多目的ホールにおいて与論町管理職等研修会が開催されました。講師には書道及び書写教育の第一人者でいらっしゃる池田光磨氏（学校法人時任学園樟南高等学校）をお招きし、書のパフォーマンス（「メリークリスマス」「水滴りて石を穿つ」）のほか、色紙を用いた書道体験が行われました。ご講演いただきました池田先生へ感謝いたします。ありがとうございました。



◆ 第15回 与論カルタ大会 ◆

令和5年12月16日（土）砂美地来館において与論カルタ大会が開催され、各子ども会（小学校4年生から6年生）全17チームが参加しました。与論カルタは、遊びながら与論の自然や歴史、文化や習慣を知るとともに、島とユンヌフトゥバ（与論方言）を愛する心を伝えることを目的としています。各子ども会が一堂に集い「与論カルタ」を通して郷土与論についての知識と郷土愛を育む機会となりました。

【大会結果】

- 第1位**
那間2班 天下統一チーム
- 第2位**
立長1-2 リッチーズ
- 第3位**
KANOUチーム
- 敢闘賞**
那間第1

